

## 地上天国

地上天国とはバイブルから出た言葉であり、仏教ではミロクの世といい、西洋ではユートピアなどといふが、勿論意味は同一であって、つまり理想世界である。之が曩にかいた如く神の目的であるから、現在迄の歴史は其世界を造る過程であつたので、幾変遷を経て漸く天国の一步手前に来たのが現在である。此世界を一口にいえば、病貧争絶無の世界である。処が此三大災厄の中の王座を占めているのが病氣であるから、病氣さへ解決すれば、貧乏も争いも自ら解消するのは、言を俟たない処である。

如上の意味に於いて、私は病氣に就いて根本原因を、凡ゆる面から徹底的に解剖し明かにするのである。而も之は医学と異つて、人智によつて生れた學問上の研究理論ではなく、神の啓示を土台とし、實驗によつて得たる真理であるから、毫末も誤りはないのである。そうして實驗とは今日迄何万に上る私の弟子が、毎日何十万に上る患者の治療に當つており、其治療率の素晴らしい事は、医学の一に對し百といつても、決して過言ではない程である。

右の如く驚くべき治病の実績が、此地球上に出現したに拘はらず、全人類は治る力のない医学を無上のものと誤信し、病苦に悩み、長く生きられる生命を中途に挫折して、う其無智悲惨なる現状は、到底黙視出来ないものである。此様な末期的惨状を神として、そう長く放任して置けないのは当然である。といふ理由と来るべき理想世界の住民としての健康人を作らんが為との二つの理由によって、茲に医学の迷盲を発表するのである。